

にじいろプロジェクト4

～みんなでいっしょに～

令和6年 12月号
日出みみょう保育園



きいぐみさん、しろぐみさんになると、個々のあそびを中心としながらも、時にはお友だちと一緒に同じ活動に取り組んでいきます。いわゆる“一斉活動”といわれる保育です。

子どもたちは、安心できる環境の元、日々の生活の中からあそびを見つけ出し、自らあそびを作っていきます。保育者は子どもたちが自分のやりたいことをやりたいだけ十分楽しめるよう、日々、環境を整えています。その一方で、きいぐみさんの後半からしろぐみさんにかけて、あそびの中に、一つのねらいの元、みんなで同じ活動をする、いわゆる“一斉活動”の時間も取り入れています。10月から始まったきいぐみさんの鍵盤ハーモニカの場面では、どの子もわくわくしながら、保育者の話を集中して聞き取り組んでいました。やりたくないとか、違うことがしたいとかいう子は一人もおらず、終わった後は『楽しかった。』『まだやりたい!』と満足した様子でした。しろぐみさんの剣道の姿もそうですが、ちょっと難しいことでもあきらめずにチャレンジしようとする姿が育っていることに嬉しく思います。一人ひとりの子が小さいころから大切にされ、やりたいことを十分に保証される環境で育ってきた子どもたちは、どんな活動でも、やってみたいという意欲とやる気が育っていきます。そこには日々培ってきた保育者との信頼関係も大切で、『先生たちが考えることはきっと楽しい!』という、期待感があるからこそ、どんなあそびも自分事として楽しめるのだと思います。これからも引き続き一人ひとりの思いを大切にしながら、就学に向け、保育者も子どもたちも楽しいことを大切に、バランスよくあそびを計画していきたいと思えます。

幼児園 主任